

仙台市議会議員 いのまた由美 議会報告

2023年7月発行 14号  
四病院問題特集号

# ゆみコミ



発行人:いのまた由美(太白区版)

事務所 〒982-0801 仙台市太白区八木山本町1-36-7  
グランチェスタ八木山101 TEL/FAX 022-797-7748



## 仙台赤十字病院移転ほか四病院問題 ~中止を求めています~

4病院再編問題は、県立病院を、仙台市内の2つの公的病院と統合合築して市外に移転をすることを、十分な説明なく根拠も不明なまま宮城県が主導して非公式に検討を始めた問題です。2病院が市内から移転すると仙台医療圏の地域医療に悪影響があることは明らかです。宮城県は根拠薄弱な病院再編を強引に進めるのではなく、地域医療課題解決に向け計画的に医療政策を進めるべきです。いのまた由美の議会内・外での言動をご報告いたします。

**2020年** 8月  
宮城県知事が3病院の  
連携・統合を突然発表

10月・超党派  
議員と仙台日  
赤・宮城県に  
要請行動。



### いのまた由美 一般質問 2020年第四回定例会(12月) 周産期医療

仙台赤十字病院は、総合周産期医療拠点としても重要な病院です。リスクの高い出産を引き受け、出産後も小児科等が低体重出生児や多胎児、障害児などの子どもが成長していく過程を支えています。

私たち市議団は、10月に宮城県に対して美術館移転問題、三病院統合問題、県営水道管理運営権の売却問題、女川原発再稼働をさせないように求めるよう、仙台市長へ要請をいたしました。それらは仙台市民の皆さんの願いです。



**2021年** 9月  
宮城県知事が4病院の  
再編協議をスタート

### いのまた由美 代表質疑 2021年第四回定例会(12月) 四病院問題

宮城県が9月9日に「県立病院等の今後の方向性」を公表し、仙台赤十字病院と県立がんセンターを統合して名取市に、並びに東北労災病院と県立精神医療センターを合築して富谷市に、という想定が突然示されました。

その「県方向性」を受け、仙台市は地域医療に悪影響が出かねないとする「本市の考え」を11月15日に公表しました。市内の2病院については特に、本市の救急医療、周産期医療、災害医療、地域連携支援などに加え、今般の新型コロナウイルス感染症対応でも大きな役割を担っていただいている、本市にとって大変重要な医療機関であるとして、データを示したものです。私たち社民フォーラム市議団としても仙台市内の医療体制を考慮して県に対して統合を中止するよう求めてきましたし、住民の皆さんと移転に反対する署名活動にも取り組んだりしていたしましたので、仙台市が考えを示したことを評価します。



**救急搬送** 宮城県知事は、病院再編によって地方の搬送時間短縮、仙台市の負担軽減につながると述べています。どのような分析をすればそう言えるのかが疑問です。

**精神医療** 精神医療センターの富谷市への移転は、名取市や仙台市太白区などで20-30年かけて築いてこられた地域の協力や生活の場づくり、患者の住まいや障害福祉サービスなど生活の維持に大きく影響するので、中止すべきです。

**回復期医療** 市内2病院は地域包括ケア病棟・回復期病床を設けており、近隣の診療所等との連携が築かれています。仙台医療圏においてもいまだ不足している回復期病床の確保は必須です。県は、県内の回復期医療の充実こそ責任をもつべきです。

## 2022年



FMたいはく『ストップ 4病院移転・統合 県民の命と健康を考える』に元八木山連合町内会長の齋藤満男さんと出演し、地域と病院の関わりをお話いただきました。

## 2023年

「STOP! 精神医療センター富谷移転2.23みやぎユースアクション」に参加。宮城県庁前の街頭演説や集会での発言もして、宮城県が四病院移転を見直すよう、住民の皆さんの声を届けます。

